公衆衛生系専門職大学院認証評価

所見記入用紙・評価結果（分科会案）（様式）

＜分科会名＞

　　公衆衛生系専門職大学院認証評価第〇分科会

評価者氏名　　○　○　○　○　○

# **１　使命・目的**

**評定（　４　３　２　１　）**

**項目：目的の設定**

|  |
| --- |
| **評価の視点** |
| **1-1** | **公衆衛生系専門職大学院が担う基本的使命及び設置大学の理念・目的を踏まえ、当該専門職大学院の目的を設定していること。またその目的は、当該専門職大学院の存在価値や目指す人材養成等の方向性を示すものとして明確であること。** |

**（１）公衆衛生系専門職大学院基準の各項目に関する概評**

**（２）提言**

**【長　所】**

**【特　色】**

**【検討課題】**

**【是正勧告】**

**（３）質問事項等**

**○質問事項**

**○確認を希望する資料、施設等**

**項目：中・長期ビジョン、方策**

|  |
| --- |
| **評価の視点** |
| **1-2** | **当該専門職大学院の目的の実現に向けて、中・長期ビジョンを策定し、それに係る資源配分、組織能力、価値創造などを方向付ける具体的方策を作成していること。またそれを実行していること。** |

**（１）公衆衛生系専門職大学院基準の各項目に関する概評**

**（２）提言**

**【長　所】**

**【特　色】**

**【検討課題】**

**【是正勧告】**

1. **質問事項等**

**○質問事項**

**○確認を希望する資料、施設等**

# **２　教育課程・学習成果、学生**

 　　　　　　　　　　　　　　　　　**評定（　４　３　２　１　）**

**項目：学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針**

|  |
| --- |
| **評価の視点** |
| **2-1** | **公衆衛生系専門職大学院が担う基本的な使命に適合し、期待する学習成果を明示した学位授与方針を定めていること。また、学位授与方針に基づいて教育課程の編成・実施方針を定め、教育の内容や方法等の妥当性を明確に説明していること。** |

**（１）公衆衛生系専門職大学院基準の各項目に関する概評**

**（２）提言**

**【長　所】**

**【特　色】**

**【検討課題】**

**【是正勧告】**

**（３）質問事項等**

**○質問事項**

**○確認を希望する資料、施設等**

**項目：教育課程の設計と授業科目**

|  |
| --- |
| **評価の視点** |
| **2-2** | **基本的な使命及び固有の目的を実現し、期待する学習成果の達成につなげるために必要な授業科目を開設し、かつ系統性・段階性に配慮して各授業科目を配置していること。その際、当該分野で必要となる下記の要件等を踏まえ、理論に裏打ちされた実践ができる高度専門職業人の育成にふさわしいものとなっていること。**1. **公衆衛生系専門職大学院に共通に課せられた基本的な使命、すなわち、国内外の行政機関・保健医療や福祉、環境に関する諸機関・教育研究機関・民間組織・地域住民組織等において求められる公衆衛生課題の解決に貢献する専門的知識・技能を身につけ、さらには広い見識と高い職業倫理観をもった人材を養成する観点から編成していること。**
2. **公衆衛生系分野の人材養成にとって基本的な内容、発展的な内容、実践的な内容、事例研究等を取扱う科目を適切に配置していること。**
3. **今日の公衆衛生課題の広域化・多様化に鑑み、グローバルな視点を涵養する観点から編成していること。**
4. **学生による履修が系統的・段階的に行われるよう配慮していること。**
5. **コミュニケーション能力、マネジメント能力、多様性に対応する能力、公共に資する職業倫理観、そして課題解決に向けて動きを興す能力（Advocacy）など、学生が自らの資質・能力（Competency）を涵養する機会の提供について配慮していること。**
 |
| **2-3** | **通信教育や e-learning 等の時間的・空間的に多様な形態で授業を行っている場合、適切な内容及び方法により、十分な教育効果をあげていること。** |
| **2-4** | **授業時間帯や時間割は、学生の履修に支障がないものであること。** |

**（１）公衆衛生系専門職大学院基準の各項目に関する概評**

**（２）提言**

**【長　所】**

**【特　色】**

**【検討課題】**

**【是正勧告】**

**（３）質問事項等**

**○質問事項**

**○確認を希望する資料、施設等**

**項目：教育の実施**

|  |
| --- |
| **評価の視点** |
| **2-5** | **学生に期待する学習成果を踏まえ、その達成にふさわしい授業形態（講義、演習、実習等）、方法（ケーススタディ、フィールドワーク等）及び教材が用いられていること。また、必要に応じてインターンシップやゲスト・スピーカー招聘がなされるなど当該職業分野の関係機関等と連携した教育上の工夫が行われていること** |
| **2-6** | **下記のような取り組みによって、それらが相互に効果を発揮して学生の円滑な学習につながっていること。****・シラバスの作成と活用****・履修指導、予習・復習等に係る相談・支援** |
| **2-7** | **教育課程を実施するうえでふさわしい教室、その他必要な施設が設けられ、かつそれらが適正な学生数で利用されていること。** |
| **2-8** | **自習室、学生相互の交流のためのラウンジ等が設けられ、学生の学習効果を高めていること。** |
| **2-9** | **図書館（図書室）は、学習及び教育研究活動に必要かつ十分な図書等を備え、かつ利用時間その他の利用環境が学習及び教育活動を支えるものとして十分なものであること。** |
| **2-10** | **学習及び教育活動に必要かつ十分な設備（情報インフラストラクチャーを含む）が整備され、活用されていること。** |

**（１）公衆衛生系専門職大学院基準の各項目に関する概評**

**（２）提言**

**【長　所】**

**【特　色】**

**【検討課題】**

**【是正勧告】**

**（３）質問事項等**

**○質問事項**

**○確認を希望する資料、施設等**

**項目：学習成果**

|  |
| --- |
| **評価の視点** |
| **2-11** | **授業科目の内容、形態に応じ、それぞれの目標の達成度を測るのにふさわしい方法・基準を設定し、これをあらかじめ学生に明示したうえで、学生の学習に係る評価を公正かつ厳格に行っていること。** |
| **2-12** | **成績評価の公正性・厳格性を担保するために、学生からの成績評価に関する問い合わせ等に対応する仕組みを整備し、かつ、学生に対して明示していること。また、その仕組みを適切に運用していること。** |
| **2-13** | **あらかじめ学生に明示した基準及び方法によって修了認定をし、学位授与方針に定めた学習成果を達成した学生に対して適切に学位を授与していること。** |
| **2-14** | **学生の学習成果、修了者の進路状況等を踏まえ、当該専門職大学院における教育上の成果を検証していること。また、必要に応じ、それを踏まえた改善・向上策をとっていること。** |
| **2-15** | **教育上の成果を検証し、教育課程及びその内容、方法の改善・向上を図るにあたっては、修了生等の意見や学生の意見を勘案するなど、多角的な視点に立つ工夫をしていること。** |

**（１）公衆衛生系専門職大学院基準の各項目に関する概評**

**（２）提言**

**【長　所】**

**【特　色】**

**【検討課題】**

**【是正勧告】**

**（３）質問事項等**

**○質問事項**

**○確認を希望する資料、施設等**

**項目：学生の受け入れ**

|  |
| --- |
| **評価の視点** |
| **2-16** | **学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針を踏まえて学生の受入れ方針を定め、求める学生像や入学者に求める水準等の判定方法等を明確にしていること。** |
| **2-17** | **選抜方法及び手続をあらかじめ公表したうえで、所定の選抜基準及び体制のもとで適切かつ公正に入学者を選抜していること。** |
| **2-18** | **入学定員に対する入学者数及び収容定員に対する在籍学生数を適正に管理していること。** |

**（１）公衆衛生系専門職大学院基準の各項目に関する概評**

**（２）提言**

**【長　所】**

**【特　色】**

**【検討課題】**

**【是正勧告】**

**（３）質問事項等**

**○質問事項**

**○確認を希望する資料、施設等**

**項目：学生支援**

|  |
| --- |
| **評価の視点** |
| **2-19** | **適切な体制のもと、進路選択・キャリア形成に関する相談・支援が行われていること。** |
| **2-20** | **適切な体制のもと、社会人、留学生、障がい者をはじめ、多様な学生が学習を行っていくための支援がなされていること。** |
| **2-21** | **適切な体制のもと、在学生の課外活動や修了生の卒後活動に対して必要な支援を行っていること。** |

**（１）公衆衛生系専門職大学院基準の各項目に関する概評**

**（２）提言**

**【長　所】**

**【特　色】**

**【検討課題】**

**【是正勧告】**

**（３）質問事項等**

**○質問事項**

**○確認を希望する資料、施設等**

# **３　教員・教員組織**

**評定（　４　３　２　１　）**

**項目：教員組織の編制方針**

|  |
| --- |
| **評価の視点** |
| **3-1** | **教員組織の編制方針を定め、当該専門職大学院の教育研究活動を推進するうえで必要となる教員組織の全体的なデザインを明確にしていること。** |

**（１）公衆衛生系専門職大学院基準の各項目に関する概評**

**（２）提言**

**【長　所】**

**【特　色】**

**【検討課題】**

**【是正勧告】**

**（３）質問事項等**

**○質問事項**

**○確認を希望する資料、施設等**

**項目：教育にふさわしい教員の配置**

|  |
| --- |
| **評価の視点** |
| **3-2** | **基本的な使命及び固有の目的を実現し、理論と実務を架橋する教育を十分に実施できるだけの専任教員を配置していること。その際、各教員はその専攻分野において優れた研究業績や高度な実務経験等を有し、かつ教育上の指導能力を有する者であり、専任教員の構成は、理論的内容を教授する者と実践的内容を教授する者のバランスが取れたものであること。** |
| **3-3** | **教育課程の中核をなす授業科目については、原則として、専任の教授又は准教授を配置していること。それらの科目に兼担又は兼任教員を配置する場合は、あらかじめ定められた基準及び手続によっていること。** |
| **3-4** | **専任教員の構成は、特定の年齢層に著しく偏らないものであるとともに、当該専門職大学院の分野の特性を踏まえつつ、多様性を考慮していること。** |

**（１）公衆衛生系専門職大学院基準の各項目に関する概評**

**（２）提言**

**【長　所】**

**【特　色】**

**【検討課題】**

**【是正勧告】**

**（３）質問事項等**

**○質問事項**

**○確認を希望する資料、施設等**

**項目：教員の募集・任免・昇格**

|  |
| --- |
| **評価の視点** |
| **3-5** | **教員の募集、任免及び昇格について、適切な内容の基準及び手続を定め、それらに基づき公正に実施していること。** |

**（１）公衆衛生系専門職大学院基準の各項目に関する概評**

**（２）提言**

**【長　所】**

**【特　色】**

**【検討課題】**

**【是正勧告】**

**（３）質問事項等**

**○質問事項**

**○確認を希望する資料、施設等**

**項目：教員の資質向上等**

|  |
| --- |
| **評価の視点** |
| **3-6** | **専任教員の資質向上を図るために、組織的な研修等を実施していること。その際、実務家教員のみならず研究者教員の実務に関する知見の充実や、実務家教員の教育上の指導能力及び大学教員に求められる職能に関する理解の向上に努めていること。** |
| **3-7** | **専任教員の教育活動、研究活動、組織運営、社会との関係の形成・社会貢献等について、適切に評価していること。** |

**（１）公衆衛生系専門職大学院基準の各項目に関する概評**

**（２）提言**

**【長　所】**

**【特　色】**

**【検討課題】**

**【是正勧告】**

**（３）質問事項等**

**○質問事項**

**○確認を希望する資料、施設等**

**項目：教育研究条件・環境及び人的支援**

|  |
| --- |
| **評価の視点** |
| **3-8** | **専任教員の教育研究活動に対し、適切な条件設定（授業担当時間の適正な設定、研究専念期間等の保証、研究費の支給等）、環境整備（研究室の整備等）及び人的支援（ＴＡ等）を行っていること。** |

**（１）公衆衛生系専門職大学院基準の各項目に関する概評**

**（２）提言**

**【長　所】**

**【特　色】**

**【検討課題】**

**【是正勧告】**

**（３）質問事項等**

**○質問事項**

**○確認を希望する資料、施設等**

# **４　専門職大学院の運営と改善・向上**

**評定（　４　３　２　１　）**

**項目：専門職大学院の運営**

|  |
| --- |
| **評価の視点** |
| **4-1** | **当該専門職大学院を運営する固有の組織体制を整備し、適切な運営が行われていること。** |
| **4-2** | **教育の企画・設計等における責任体制が明確であること。** |
| **4-3** | **教育内容、教員人事等において、関係する学部・研究科等がある場合、適切に連携等が行われていること。** |

**（１）公衆衛生系専門職大学院基準の各項目に関する概評**

**（２）提言**

**【長　所】**

**【特　色】**

**【検討課題】**

**【是正勧告】**

**（３）質問事項等**

**○質問事項**

**○確認を希望する資料、施設等**

**項目：自己点検・評価と改善活動**

|  |
| --- |
| **評価の視点** |
| **4-4** | **自己点検・評価のための手続を明確にし、かつ責任ある体制のもとで組織的・継続的な自己点検・評価を行っていること。また、その結果を教育研究の改善・向上に結び付けていること。** |
| **4-5** | **外部から改善の必要性を指摘されたものについては、適切に対応していること。** |

**（１）公衆衛生系専門職大学院基準の各項目に関する概評**

**（２）提言**

**【長　所】**

**【特　色】**

**【検討課題】**

**【是正勧告】**

**（３）質問事項等**

**○質問事項**

**○確認を希望する資料、施設等**

**項目：社会との関係、情報公開**

|  |
| --- |
| **評価の視点** |
| **4-6** | **教育課程連携協議会を活用するなど、社会の意見を当該専門職大学院の運営やその改善・向上において勘案していること。** |
| **4-7** | **当該専門職大学院の運営と諸活動の状況について情報を公開し、説明責任を果たしていること。また、その使命・目的や活動状況について社会からの理解を得るよう取り組んでいること。** |
| **4-8** | **企業、その他外部機関との連携・協働を進めるための協定、契約等を結んでいる場合においては、その決定・承認が適正な手続きでなされ、また資金の授受・管理等が適切に行われていること。** |

**（１）公衆衛生系専門職大学院基準の各項目に関する概評**

**（２）提言**

**【長　所】**

**【特　色】**

**【検討課題】**

**【是正勧告】**

**（３）質問事項等**

**○質問事項**

**○確認を希望する資料、施設等**

**【総合評価】**

＜認定の可否＞　　　（　可　　否　）

＜総評＞

○○大学大学院○○研究科○○専攻は、固有の目的として「○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○」を掲げている。これを実現するために「○○○」「○○○」「○○○」という○年度～○年度における中・長期ビジョンを策定し、これを具体化した計画を定めて○○を備えた人材の養成に取り組んでいる。

教育課程においては、「○○」「○○」「○○」の科目群を設け、学年に応じて段階的に履修することができるよう体系的なカリキュラムを編成している。また、教育方法として、○○や○○を取り入れており、「○○」においては、○○○○○などの工夫がみられる。

なかでも、教育において○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ことは、○○○○○○○○○○○○○の達成に有効な取組みであり、○○○○○○といった成果に結びついていることは高く評価できる。また、○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ことは、○○○○○○の観点から特色ある取組みといえる。そのほか、教員組織において○○○○○○○○していること、学生支援において○○○○○○○○○○を実施していることは、効果的な教育を支える取組みとして評価できる。

一方で、以下の点については、課題が見受けられる。

まず、教育課程において、○○○○○○○○が十分に整備できておらず、○○○○○が生じていることは課題である。○○○○○○という固有の目的を達成するためにも、○○○○○○○○○○するよう改善が求められる。次に、教員組織において、○○○○○○○○が不足していること、○○○○が十分でない点に課題が見受けられる。教育の水準を向上させるためにも、○○○○することが望まれる。さらに、学生の受け入れにおいて、○○○○○○の問題を継続して抱えていることから、当該専攻においても○○○○○○○○○○○○に着手しており、この成果を検証しつつ、一層の改善に努めることが期待される。

これらの点を改善するためにも、今回の公衆衛生系専門職大学院認証評価の結果を活用し、改善に向けて今後も継続して自己点検・評価活動に取り組み、教育の質のより一層の保証・向上を図ること、さらには、当該専攻の特色をさらに伸張していくことを期待したい。

以　上